

2016年に肺がんと診断された患者様へ

作成日 平成 30年11月9日

研究「院内がん登録を活用した胸膜プラークを持つ肺がん患者の実態調査」への参加について

1. 本研究の意義および目的

石綿による肺がんの救済対象となる者のうち制度を利用していない肺がん患者が相当数いると想定されるが、日本における石綿による肺がん患者の推計を行った調査は見当たりません。2016年診断症例院内がん登録全国集計にデータ提出をした肺がん患者の診断時胸部 CT 画像情報から石綿健康被害救済制度の認定基準の胸膜プラークの有無を判定することで調査対象の肺がん患者における石綿による肺がん患者の割合を推計、施設特性や地域による分布の特徴を把握する調査が行われることになりました。

2. 研究の方法

調査対象者:2016年診断症例院内がん登録情報に登録された肺がん患者のうち無作為に抽出した患者10名

方法:当該患者様の胸部 CT 画像情報を匿名化し調査事務局へ送り、その胸部 CT 画像を本調査のために協力を依頼された医師、放射線技師が読影し、救済制度認定基準を満たす胸膜プラークの有無を判定して他施設から提供された画像情報とあわせて集計・分析し、石綿による肺がん患者の特徴を把握する予定です。

3. 外部への資料・情報の提供

CT 画像を匿名化、暗号化し、調査事務局へ提供します。どなたの試料かが判別できないように致します。

4. 研究全体の期間と予定症例数

期間:倫理委員会承認日～平成 31 年 3 月 31 日

予定症例数: 10 症例

5. 研究結果の公表について

石綿健康被害救済制度の周知方法を検討時の情報のひとつとして環境省石綿健康被害対策室に報告される予定となっています。

6. 個人情報に関して

当該患者様の胸部CT画像情報はすべて匿名化され、個人情報を含めない形となります。情報収集時にも研究担当者により厳重に保管・管理されます。

7. 本研究への参加を拒否する場合

国立がん研究センターへお問い合わせください。

8. 研究機関、研究責任者および研究者

研究機関:国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター

研究責任者:東尚弘

研究者:富塚太郎、塚田庸一郎、新野真理子

9. 問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立がん研究センター

がん対策情報センターがん登録センター

「院内がん登録を活用した胸膜プラークを持つ肺がん患者の実態調査」調査事務局

担当:新野真理子

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

Tel:03-3547-5201(内線:1604)